

## 2025 年6月 ITU-R SG1 会合報告書(案)

【会合名称】ITU-R SG1 会合(周波数管理に関する研究委員会)

【会 期】2025 年 6 月 19 日(木)

【開催場所】ITU 本部 / Virtual meeting (Zoom)によるハイブリッド会合

【概 要】

本会合は、今研究会期における第 2 回会合である。ジュネーブ ITU 本部での対面会合と、Zoom プラットフォームを用いたオンライン会合とのハイブリッド形式で行われた。本会合には、44 の主管庁、2 の認定された運営機関、7 の科学又は産業組織、1 の電気通信に関わるその他の組織及び ITU などから計 200 名が参加した<sup>1</sup>。日本からの出席者は表1のとおり。

表 1 日本からの出席者(敬称略・順不同)

氏名	所属	氏名	所属
1 青野 海豊	総務省 国際周波数政策室	15 庄木 裕樹	エイターリンク
2 絹笠 皓樹	総務省 国際周波数政策室	16 小舘 直人	エイターリンク
3 柴田 由里	総務省 放送技術課	17 塚本 悟司	東北大学
4 佐伯 吉章	総務省 放送技術課	18 小林 哲	YRP 研究開発推進協会
5 色部 俊昭	総務省 電波環境課	19 藤本 卓也	YRP 研究開発推進協会
6 横出 智貴	総務省 電波環境課	20 関野 昇	電気興業
7 関伽井 琴実	総務省 電波環境課	21 関根 彰吾	三菱総合研究所
8 河間 善之	総務省 監視管理室	22 佐久間 洋	キーサイト・テクノロジー
9 山本 将文	総務省 監視管理室	23 田中 勇気	パナソニックホールディングス
10 末光 礼奈	総務省 監視管理室	24 川上 陸	ワシントンコア
11 平川 智哉	総務省 監視管理室	25 官澤 彩	ワシントンコア
12 小川 博世	情報通信研究機構	26 正路 佳代子	ワシントンコア
13 久保田 文人	テレコムエンジニアリングセンター	27 巽 佳奈子	ワシントンコア
14 山崎 高日子	三菱電機	28 森 圭子	ワシントンコア

1 本会合では、6 月 11 日(水)から同月 18 日(水)までジュネーブの ITU 本部で開催された WP1A、1B 及び 1C からの寄書並びに他グループからのリエゾン文書等を含めた計 35 件の入力文書が検討された(1

入力文書一覧 参照)。

表 2 SG1 に上程された勧告・報告

文書 番号(1/)	主題		種別	審議結果
49	SM.328-11	発射のスペクトルと帯域幅	勧告	PSAA <sup>2</sup> に付す
52	SM.2110-1	EV 用 non-beam WPT の利用周波		PSAA に付す

<sup>1</sup> Final list of participants - Study Group 1 (Geneva, 19 June 2025)(1/57)

<sup>2</sup> 採択・承認の同時手続(Procedure for Simultaneous Adoption and Approval)

		数に関するガイドライン		
53	SM.337-6	周波数及び離隔距離		エディトリアル改訂。承認
32 Rev.1	SM.2015-2	周波数利用の長期的国家戦略の決定方法	報告	承認
48	SM.2012-6	周波数管理における経済的側面		承認

今回会合で新たに以下の WP 副議長が就任した。

- WP1A: Lucy Nyakwera 氏(ウガンダ)
- WP1B: Tatiana Sukhodolskaia 氏(ロシア)と Il Kyoo Lee 氏(韓国)
- WP1C: Felix Schad 氏(ドイツ)と Titus Cheptoo 氏(ケニア)

SG1 会合の構成と各グループの担当議題は以下のとおりである。

表 3 SG1 会合の構成と各グループの担当議題

SG/WP	検討案件	議長
SG1 議長		Wael SAYED 氏 (エジプト)
SG1 副議長		Mohamed ABUSAIF 氏(バーレーン) Ahmed Waleed Al-JAMEED 氏(イラク) Mubarak Al-SAWAFI 氏(オマーン) Saad ALASKAR 氏(サウジアラビア) Ulugbek AZIMOV 氏(ウズベキスタン) Afsin BUYUKBAS 氏(トルコ) Yongjun CHUNG 氏(韓国) Siaka COULIBALY 氏(マリ) Mohamed HAJI 氏(ケニア) Salvatore LAMPARELLA 氏(イタリア) Albert NALBANDIAN 氏(アルメニア) Mrunmaya PATTANAIK 氏(インド) Phung Nguyen Phuong 氏(ベトナム) Sana ZAIRI 氏(モロッコ) Zheng ZHAO 氏(中国)
WP1A 議長	スペクトラム技術に関する作業部会	Brandy Jo SYKES 氏(Apple Inc.)
副議長		Lucy NYAKWERA 氏(ウガンダ)
WP1B 議長	周波数管理手法に関する作業部会	Bin LIU 氏(中国)
副議長		Tatiana SUKHODOLSKAIA 氏(ロシア) Il Kyoo LEE 氏(韓国)
WP1C 議長	電波監視に関する作業部会	Mubarak Al-SAWAFI 氏(オマーン)
副議長		Felix SCHAD 氏(ドイツ) Titus CHEPTOO 氏(ケニア)

## 2 SG1 のレポートの任命

入力文書:なし

SG1 議長から本会合のレポートを募ったところ、Mohamed Haji 氏(ケニア)が立候補し、参加者からの拍手をもって異議なく承認された。

## 3 関連会合からの報告

### 3.1 CPM-27 Steering Committee

---

入力文書:CA/270(Add.1)、CA/270(Add.1)(Corr.1)

カウンセラから、ジョイント会合<sup>3</sup>で紹介済みであることに鑑みて、簡単に内容に触れた。主に、WRC 議題の共用・両立性検討に必要な各種パラメータ及び保護基準等の作成期限を 2024 年 12 月 31 日から 2025 年 7 月 1 日まで延長したこと、CPM テキストの締め切りを 2026 年 10 月 23 日に設定したこと、ITU-R 決議 2 の規定に基づき、CPM27-2 は 2027 年 4 月に開催予定であることなどが報告された。特段、異議無く、了知された。

### 3.2 Radiocommunication Advisory Group (RAG)第32回会合

---

入力文書:CA/277、1/45

カウンセラから、ジョイント会合で紹介済みであることを鑑みて、2025 年 4 月に開催された RAG 第 32 回会合のサマリー(CA/277)及び BR 局長からの文書(1/45)は簡単に内容に触れた。特段、異議無く、了知された。

## 4 各 WP からの報告

### 4.1 WP1A

---

入力文書:1/54

WP1A 議長から、2025 年 6 月に 1 回開催された WP1A では、WP の体制は前回会合までのものを踏襲して 3 つの WG を設置したこと、SG 1 に対して ITU-R 勧告改訂案 2 件と ITU-R 勧告のエディトリアル改訂案 1 件の検討を求めること、WP1A 副議長に Lucy Nyakwera 氏(ウガンダ)を任命したこと等が報告された。イランから、新たに就任した副議長に関して、ジェンダー及び開発途上国出身であるといった観点から望ましいと述べたうえで、SG1 議長やカウンセラに対して、新副議長に重要な論点等に関する簡単なブリーフィングを行うことが提案され、SG1 議長から新議長に対する十分なサポートを提供する用意があると回答された。その他特段の異議無く、了知された。

---

<sup>3</sup> WP1A、WP1B、WP1C のジョイント会合は、2025 年 6 月 11 日(水)に開催され、主に文書の割り振りや関連機関からの連絡事項などを確認・議論した。

- WG1A-1:電力線搬送通信(PLT)システムを含む有線電気通信と無線通信システムの共存及びその関連事項、議長:John Shaw 氏(BBC)
- WG1A-2:ワイヤレス電力伝送(WPT)とその関連事項、議長:Frank Ernst 氏(ドイツ)
- WG1A-3:WRC-31 暫定議題 2.1 と他の議題及び課題、議長:Brandy Jo Sykes 氏(Apple Inc.)

## 4.2 WP1B

入力文書:1/34、51

WP1B 議長から、2024 年 11 月と 2025 年 6 月に 2 回開催された WP1B では、WP の体制は前回会合までのものを踏襲して 2 つの WG を設置したこと、SG1 に対し ITU-R 報告改訂案 2 件の検討を求めること、WP1B 副議長に Il-Kyoo Lee 氏(韓国)及び Tatiana Sukhodolskaia 氏(ロシア)を任命したこと等が報告された。特段、異議無く、了知された。

- WG1B-1:ショートレンジデバイス(SRD)及び WRC-27 議題などの関連事項、議長:Fatih Mehmet Yurdal 氏(トルコ)
- WG1B-2:周波数管理の経済的側面及びその他、議長:Tatiana Sukhodolskaia 氏(ロシア)

## 4.3 WP1C

入力文書:1/55

WP1C 議長から、2025 年 6 月に 1 回開催された WP1C では、WP1C 副議長に Felix Schad 氏(ドイツ)及び Titus Cheptoo 氏(ケニア)を任命したことが報告された。イランから、電波監視ハンドブックの改訂内容を 2026 年に開催される SG1 会合で承認することが要求され、そのように進められることが確認された。その他特段の異議無く、了知された。

# 5 ITU-R 新勧告案及び改訂勧告案

## 5.1 WP1AからのITU-R新勧告案及び勧告改訂案

入力文書:1/49、52

以下の 2 件の ITU-R 勧告改訂案が完成し、いずれも採択・承認の同時手続(Procedure of Simultaneous Adoption and Approval:PSAA)に付すことで合意した。

表 5 ITU-R 勧告改訂案(WP1A)

文書番号(1/)	勧告番号	表題	新/改訂
49	SM.328-11	Spectra and bandwidth of emissions	改訂
52	SM.2110-1	Guidance on frequency ranges for operation of non-beam wireless power transmission for electric vehicles	改訂

ITU-R 勧告 SM.2110-1 (EV 用 non-beam WPT の利用周波数に関するガイドライン) 改訂案(1/52)について、国際機関の名称及びそのうち一部の国際機関が発行した文書に言及した noting 部 d) 及び e) の記載内容について主に議論が交わされた。イランから、noting 部 e) に記載のある国際非電離放射線防護委員会(International Commission on Non-Ionizing Radiation Protection: ICNIRP) という組織自体の説明が求められ、WP1A 議長から回答された。ロシアから、noting 部 d) に記載されている全組織(WHO、ICE TC106、ICES) が、noting 部 e) で言及されていないのは不適切だと指摘され、主に noting 部 e) の文面について、オフラインも含めて議論した結果、最終的には noting 部 e) で具体的な文書に言及する国際機関の名称のみを noting 部 d) に記載することで合意した。そのほか体裁面での修正を行った上で、勧告改訂案は完成し、採択・承認の同時手続(Procedure of Simultaneous Adoption and Approval: PSAA)に付すことで合意した。

## 5.2 WP1BからのITU-R新勧告案及び勧告改訂案

なし

## 5.3 WP1CからのITU-R新勧告案及び勧告改訂案

なし

# 6 ITU-R 報告<sup>4</sup>

## 6.1 WP1AからのITU-R新報告案及び報告改訂案

なし

## 6.2 WP1BからのITU-R新報告案及び報告改訂案

入力文書: 1/32 Rev.1、48

以下の 2 件の ITU-R 報告改訂案が承認された。

表 4 ITU-R 報告改訂案(WP1B)

文書番号 (1/)	報告番号	表題	新/改 訂
32 Rev.1	SM.2015-2	Methods for determining national long-term strategies for spectrum utilization	改訂
48	SM.2012-6	Economic aspects of spectrum management	改訂

なお、ITU-R 報告 SM.2012-6(周波数管理における経済的側面)改訂案は、2025 年 6 月に開催された WP1B 会合で、タイトルの一部変更、米国、ブラジル、中国、インドから最新情報への更新、Preface と Forward の削除、Scope part の修正、Introduction への名称

<sup>4</sup> ITU-R 報告は SG 1 会合により承認され、会合終了後すぐに有効とされる。

変更が行われたものである。本会合では以下の議論が交わされた。

- ・ イランから、報告書に記載されている国の事例に関する記載について疑問が呈された。WP1B 議長から報告の 7 ページ目に記載されている Introduction の注釈 (NOTE) 1 に記載しているとおり、これらは、あくまで各国主管庁の情報を示したものである点が説明された。
- ・ ATDI から、会合中にも複数回にわたって指摘したが、本報告の分量が 200 ページ超と膨大であることから、今後短くすべきであるとの発言がなされた。巻末に記載されている UAE とコートジボワールの規制テキストの引用については、その分量や有用性を考慮し、今後の改訂時に当該情報へのリンクで置き換えることなどを検討することが提案され、合意された。

これらの議論を経て、本報告改訂案は承認された。

## 6.3 WP1CからのITU-R新報告案及び報告改訂案

---

なし

## 7 新研究課題及び研究課題の改訂・削除

なし

## 8 ITU-R 勧告・ITU-R 報告のエディトリアルな修正

### 8.1 WP1Aからのエディトリアル修正案

---

入力文書:1/53

以下の 1 件の ITU-R 勧告のエディトリアル修正案が審議され、特段、異論無く、承認された。

表 5 報告のエディトリアル改訂案(WP1A)

文書番号 (1/)	勧告番号	表題	新/改訂
53	SM.337-6	Frequency and distance separations	改訂

### 8.2 WP1Bからのエディトリアル修正案

---

なし

### 8.3 WP1Cからのエディトリアル修正案

---

なし

## 9 勧告、報告、ハンドブック、研究課題、意見、決議、決定のステータス

### 9.1 研究課題の完了期限の延長、SG1に関連したITU-R決議、SG1の作業に関連するWRC-27議題又はWRC-31暫定議題で参照されるWRC-23決議、SG1の作業に関連して研究を要請するW(A)RC決議・勧告

入力文書:1/1 Rev.1 及び 1 Rev.1(Att.1、5、8、9)

カウンセラから、本件の詳細は WP1A、WP1B、WP1C のジョイント会合で説明済みであることに鑑み、文書の詳細は各自で確認するよう述べられた。特段、異議無く、了知された。

## 10他の SG や国際機関とのリエゾン

### 10.1 ITU-R

以下のリエゾン文書は、すべて情報として了知された。

表 6 ITU-R からのリエゾン文書

文書番号 (1/)	提出元	表題	概要
31	SG4	Reply liaison statement to ITU-T Study Group 3 (copy to ITU-R Study Group 1 and RAG) - Creation of new work item on economic and policy aspects of the provision of high-speed Internet connectivity by retail satellite operators	1A/30 の文書を ITU-R SG4 で詳細に検討した結果、RAG からのガイダンスを期待する旨を ITU-T SG3 に連絡する返答リエゾン文書(SG1 及び RAG にはコピー送付)。なお、米国から、ITU-T による無線領域への立ち入りは、過去にも何度となく注意が喚起されているとの指摘がなされ、SG1 議長が RAG 等の適切な場において本件に関する対応を進めていくことが要請され了知された。
43	WP4A	Reply liaison statement to Working Parties 4B, 4C and 5A (copy for information to Study Groups 1, 5 and 7)	衛星通信ハンドブックに対するリエゾン文書に感謝するとともに、ドラフト版の衛星通信ハンドブックが WP4A 議長報告の Annex 29(4A/567)にあることを周知する WP4B、4C 及び5A 宛ての返答リエゾン文書(SG1、5、7 にはコピー送付)。
33	WP6A	Liaison statement to CISPR/H (copy for information to ITU-R Study Group 1 and Working Parties 1A, 5A and 7A) - Update to broadcasting services protection requirements in the CISPR radio services database	無線サービスデータベースを簡素化して、特定の周波数範囲内のすべての放送アプリケーションが適切に保護されるようにすることを提案する CISPR 宛てのリエゾン文書(SG1 及び WP1A、5A、7A にはコピー送付)。
50	CCV <sup>5</sup>	Liaison statement to Radiocommunication Study Groups and Working Parties	CCV から、2024 年 6 月から 2025 年 6 月までの活動内容を連絡するリエゾン文書(ITU-T 及び ITU-D SG にはコピー送付)。

SG1 議長から、CCV からのリエゾン文書(1/50)を紹介した Yongjun Chung 氏(韓国、SG1 の CCT リエゾンラポータ)は引き続き、これまでの任務を継続し、今後も SG1 の CCT リエゾンラポータとして活動を続けることが提案され、異議なく承認された。

<sup>5</sup> Coordination Committee for Terminology

## 10.2 ITU-T

以下のリエゾン文書は、すべて情報として了知された(一部 WP から返答リエゾン文書を送付した)。

表 7 ITU-T からのリエゾン文書

文書番号 (1/)	提出元	表題	概要
28	SG15	Liaison statement on the new version of the access network transport (ANT) standards overview and work plan	ITU-T SG15 から Annex Network Transport (ANT) の標準概要(Standards Overview)と標準作業計画(Standards Work Plan)が更新されていることを周知するリエゾン文書。
29	SG15	Liaison statement on the new version of the home network transport (HNT) standards overview and work plan	ITU-T SG15 から Home Network Transport (HNT) の標準概要と標準作業計画が更新されていることを周知するリエゾン文書。
30	SG3	new work item on economic and policy aspects of the provision of high-speed Internet connectivity by retail satellite operators	NGSO 衛星による高速・低遅延インターネットサービスの導入の促進に関し、各主管庁による承認を支援するため、その経済政策上の視点から、新たな ITU-T 勧告を策定することとなり、必要な協力を求めるリエゾン文書。
36 Rev.1	SG2	Liaison statement on request for input on Quality of Service (QoS) and Electromagnetic Fields (EMF) in the context of indoor coverage technologies	ITU-T SG2 は、屋内ネットワークカバレッジの提供に関する技術的考慮事項と課題対処の補足文書であり、QoS と EMF の重要な側面に焦点を当てている。E.370.Suuppl-IECT の作成中であることを周知するとともに、ITU-T SG5 及び SG12、ITU-R 各 SG に対して関連研究等の共有を歓迎することを連絡するリエゾン文書。なお、WP1C でリエゾン文書を作成したが、発出されず、議長報告に添付して次回会合に持ち越すこととなった。
37	SG2	Response liaison statement on the UAV definitions	2025年2月14日に開催された ITU-T SG2 会合において、以下の無人航空機(UAV)関係の用語(UAV telecom service、UAV telecom service management system (U-TSMS))の定義を作成したことを周知するリエゾン文書。
38	SG15	Liaison statement on the latest updates of access network transport (ANT) and home network transport (HNT) standards overviews and work plans	Access Network Transport (ANT) 及び Home Network Transport (HNT) の規格及びワークプランに関する ITU-T SG15 から ITU-T SG21 及び SG9 宛てのリエゾンの文書。
39	SG15	Liaison statement on satellite to satellite free space optical communication	ITU-T SG15 で検討されている衛星間の自由空間における光通信技術に関するリエゾン文書。なお、WP1A から返答リエゾン文書が送付されている。
40	SG3	Liaison statement on the provisional approval of a new work item on cost models for provisioning satellite internet connectivity services	ITU-T SG3 で検討されている衛星インターネット接続サービス手続きのコストモデルに関する技術報告草案を策定するための作業項目、スコープ及び概要を共有するリエゾン文書。なお、WP1B から返答リエゾン文書が送付されている。
41 Rev.1	SG15	Liaison statement on free-space optics systems related aspects for G.fso	ITU-T SG15 で検討している新勧告(短距離インターフェースを用いたモバイルバックホール向け自由空間光通信)への情報提供を呼びかけるリエゾン文書。なお、WP1A から返答リエゾン文書が送付されている。
44	CCT <sup>6</sup>	Liaison statement to ITU-R Study Groups 1 and 3 - Request of feedback on terms and definitions proposed by	ITU terms and definitions database に記載されている用語のうち、本文書の Annex に記載されている用語に関する SG1 及び3の見解を求めるリエゾン文書。

<sup>6</sup> Coordination Committee for Terminology



		ITU-T Study Group 5 and submitted to the CCT for validation	
46	TSAG <sup>7</sup>	Liaison statement on the activities and studies on sustainable digital transformation	ITU-T SG5 が作成中のいくつかの用語の定義について、SG1 の意見を求める文書 TSAG から、持続可能なデジタル・トランスフォーメーションに関するラポータグループ(RG-DT)に対して、持続可能な DT に関する情報提供を求めるリエゾン文書。

## 10.3 ITU-D

以下のリエゾン文書を情報として了知した。

表 8 ITU-D からのリエゾン文書

文書番号 (1/)	提出元	表題	概要
42	SG1	Liaison statement from ITU-D Study Group 1 Question 2/1 to ITU-T Study Group 21 and ITU-R Study Group 1 on strategies, policies, regulations and methods of migration to and adoption of digital technologies for broadcasting	ITU-T SG5 が作成中のいくつかの用語の定義について、SG1 の意見を求めるリエゾン文書。

## 10.4 CISPR

入力文書:1/35、47

文書(1/35)は特段の質疑・コメントなく、情報として了知された。WPTに関する CISPR との SG1 ラポータである久保田氏から、CISPR の活動内容に関する文書(1/47)の詳細は WP1A、WP1B、WP1C のジョイント会合で説明済みであることに鑑み簡単に紹介された。主に、CISPR が議論中の SG1 関連の内容については次回 SG1 会合で報告することや次回 CISPR 会合が 2025 年 9 月にインド・ニューデリで開催される予定であることなどが報告され、特段、異議無く、情報として了知された。

また、SG1 議長から、久保田氏と CISPR リエゾンに関する SG1 ラポータである Gabriele Meindl 氏(ドイツ、今会合は欠席)は引き続き、これまでの任務を継続し SG1 ラポータとして活動が続けることが提案され、異議なく承認された。

<sup>7</sup> Telecommunication Standardization Advisory Group

## 11 回目の SG1 関連会合の予定

今後の SG1 及び各 WP 会合の予定は以下のとおりとされた。

表 9 次回の SG1 関連会合の予定

日程	対象グループ	備考
2025 年 11 月 10 日(月)～14 日(金)	WP1C ラポータグループ (電波監視ハンドブックの改訂)	暫定日程
2026 年 2 月 23 日(月)～27 日(金)もしくは 3 月 23 日(月)～27 日(金)		検討中
2026 年 6 月 3 日(水)～10 日(水)	WP1A、WP1B、WP1C SG1	暫定日程
2026 年 6 月 11 日(木)		

WP1A、WP1B、WP1C の次回会合は 2026 年 6 月 3 日～11 日を、SG1 の次回日程は 2026 年 6 月 11 日を暫定日程とすることがカウンセラから周知され、異議無く承認された。

WP1C のラポータグループ(電波監視ハンドブックの改訂)の次回会合は、2025 年 11 月 10 日～14 日で確定したものの、その次の同グループ会合の開催日程(2026 年 2 月 23 日～2 月 27 日か同年 3 月 23 日～27 日)及び会場(スイス・ジュネーブかドイツ・ミュンヘン)について合意に至らず、現時点では 2 月と 3 月の両方を併記しておき、会場の空き状況等を確認したうえで今後決定されることとなった。

## 12入力文書一覧

### 12.1 入力文書

文書 番号	提出元	表題
1 Rev.1	Chair, SG 1	Assignment of texts to the Study Group 1 Sub-Groups
27 Rev.2	Chair, SG 1	Summary Record of the meeting of Radiocommunication Study Group 1 (Geneva, 20 June 2024)
28	ITU-T SG 15	Liaison statement on the new version of the access network transport (ANT) standards overview and work plan
29	ITU-T SG 15	Liaison statement on the new version of the home network transport (HNT) standards overview and work plan
30	ITU-T SG 3	Liaison statement on creation of new work item on economic and policy aspects of the provision of high-speed Internet connectivity by retail satellite operators
31	SG 4	Reply liaison statement to ITU-T Study Group 3 (copy to ITU-R Study Group 1 and RAG) - Creation of new work item on economic and policy aspects of the provision of high-speed Internet connectivity by retail satellite operators
32 Rev.1	WP 1B	Draft revision of Report ITU-R SM.2015-2 - Methods for determining national long-term strategies for spectrum utilization
33	WP 6A	Liaison statement to CISPR/H (copy for information to ITU-R Study Group 1 and Working Parties 1A, 5A and 7A) - Update to broadcasting services protection requirements in the CISPR radio services database
34	Chair, WP 1B	Executive Report to Study Group 1 (Working Party 1B meeting in Geneva, Switzerland, 5-8 November 2024)
35	CISPR	Liaison letter from CISPR/H to ITU-R on CISPR 12 to Ed7.0
36 Rev.1	ITU-T SG 2	Liaison statement on request for input on Quality of Service (QoS) and Electromagnetic Fields (EMF) in the context of indoor coverage technologies
37	ITU-T SG 2	Response liaison statement on the UAV definitions
38	IUT-T SG 15	Liaison statement on the latest updates of access network transport (ANT) and home network transport (HNT) standards overviews and work plans
39	IUT-T SG 15	Liaison statement on satellite to satellite free space optical communication
40	ITU-T SG 3	Liaison statement on the provisional approval of a new work item on cost models for provisioning satellite internet connectivity services
41 Rev.1	ITU-T SG 15	Liaison statement on free-space optics systems related aspects for G.fso
42	ITU-D SG 1	Liaison statement from ITU-D Study Group 1 Question 2/1 to ITU-T Study Group 21 and ITU-R Study Group 1 on strategies, policies, regulations and methods of migration to and adoption of digital technologies for broadcasting, including to provide new services for various environments - ITU-D Study Group 1 Question 2/1: Strategies, policies, regulations and methods of migration to and adoption...
43	WP 4A	Reply liaison statement to Working Parties 4B, 4C and 5A (copy for information to Study Groups 1, 5 and 7)
44	CCT	Liaison statement to ITU-R Study Groups 1 and 3 (copy to ITU-R Working Parties 1C and 3J, ITU-T Study Group 5) - Request of feedback on terms and definitions proposed by ITU-T Study Group 5 and submitted to the CCT for validation
45	Director, BR	Additional information on the summary of conclusions of the 32nd meeting of the Radiocommunication Advisory Group for the attention of all ITU-R Study Groups and Working Parties
46	TSAG	Liaison statement on the activities and studies on sustainable digital transformation
47	SG 1 Rapp. to CISPR on WPT	Report on CISPR activities from June 2024 to June 2025 on WPT issues
48	WP 1B	Draft revision of Report ITU-R SM.2012-6 - Economic aspects of spectrum management
49	WP 1A	Draft revision of Recommendation ITU-R SM.328-11 - Spectra and bandwidth of emissions

文書 番号	提出元	表題
50	SG 1 Rap. to CCV <sup>8</sup>	Report on the CCT activities from June 2024 to June 2025 on topics related to Study Group 1 and its Working Parties
51	Chair, WP 1B	Executive Report to Study Group 1 (Working Party 1B meeting in Geneva, Switzerland, 11-18 June 2025)
52	WP 1A	Draft revision of Recommendation ITU-R SM.2110-1 - Guidance on frequency ranges for operation of non-beam wireless power transmission for electric vehicles
53	WP 1A	Draft editorial revision of Recommendation ITU-R SM.337-6 - Frequency and distance separations
54	Chair, WP 1A	Executive Report to Study Group 1 (Working Party 1A meeting in Geneva, Switzerland, 11-18 June 2025)
55	Chair, WP 1C	Executive Report to Study Group 1 (Working Party 1C meeting in Geneva, Switzerland, 9-18 June 2025)
56	BR, SG	List of documents issued (Documents 1/27 - 1/56)
58	Chair, SG 1	Summary Record of the meeting of Radiocommunication Study Group 1 (Geneva, 19 June 2025)

#### その他の入力文書

文書 番号	提出元	表題
CA/270(Add.1), CA/270(Add.1 Corr.1)	Director, BR	Results of the first session of the Conference Preparatory Meeting for WRC-27 (CPM27-1)
CA/277	Director, BR	Summary of conclusions of the thirty-second Radiocommunication Advisory Group (Geneva, 14-17 April 2025)

<sup>8</sup> SG 1 RG (CISPR リエゾン)のラポータ及び WPT 関連事項に関する CISPR ラポータの連名。